

「みどりの保育園」推進事業第二弾！！

創作紙芝居による環境教育

保育園児の森林環境教育「みどりの保育園」推進事業を実施中の西荒瀬保育園において、創作紙芝居による環境教育（エコ活動）が6月16日（火）開催されました。

今回のテーマとして掲げている創作紙芝居による環境教育は、幼児達の「環境への感性」形成を推進するための環境教育の教材を保育士と園児達が自主制作することで、自分たちが住んでいる地域（海岸林により守られている生活環境）の現状認識と、それを保全（維持管理）している地域住民達の取り組み（市民活動やボランティア活動）への関心を高め、環境の改善や保護に積極的に参加する動機づくりや価値観形成への初歩的なサポート事業として「やまがた緑環境税」を活用して計画したものです。

今回は、地域で子育て支援グループとして活動を行っている小国町のボランティア団体から講師を招き創作した紙芝居による児童教育を実践して頂きました。

小国町の昔話を土台にして創作した紙芝居や、環境に優しい生活をテーマにした「エコばあさんとエゴじいさん」の話の講師が方言を交えて演じると園児達は熱心に聞き入っていました。

園児達も絵で物語を聞くと説明が理解できるのか、うなずいたり「違うよ～」と反論したりして自分たちの感性を表現しており、情操教育としての成果が高いことが良く判りました。

紙芝居を熱心に聞いたご褒美に、雑穀で作ったクッキーを講師から頂いた園児達は大喜びで、「この次はいつ紙芝居を見せてくれるのか」と催促する声も出されました。

紙芝居終了後は、講師から保育士の先生達に創作紙芝居の制作方法について講義があり、紙芝居の形式、場面作成、描画方法等について詳しく説明して頂きました。

参加した保育士の先生達もメモを取るなど熱心に聞いており、質疑応答では色々な質問が出され終了時間を30分もオーバーしてしまいました。

西荒瀬保育園では、野外での活動が困難になる冬場に紙芝居の創作をすることとし、秋までにストーリーを検討することになりました。どんな紙芝居が創作されるのか今から楽しみです。園児達も頑張ってくださいね。



創作紙芝居上演前の園児達の挨拶

§ よろしくお願ひします！ §